

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在サンクトペテルブルク日本国総領事館

記入日 2013年8月29日(木)

1. 現地の建設工事に係る経済情報

以下は連邦統計局のサイトからの情報。

サンクト・ペテルブルク市

資料名：2013年1月から6月までペテルブルク市内で94万7500平方メートルの住宅が建設された。

資料名：2013年1月から6月までペテルブルク市で建設分野に1470億7150万ルーブルが支出された。

URL：http://www.gks.ru/wps/wcm/connect/rosstat_main/rosstat/ru/statistics/enterprise/building/

レニングラード州

資料名：2013年1月から6月までレニングラード州で55万6600平方メートルの住宅が建設された。

資料名：2013年1月から6月までレニングラード州で建設分野に292億3920万ルーブルが支出された。

URL：http://www.gks.ru/wps/wcm/connect/rosstat_main/rosstat/ru/statistics/enterprise/building/

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向

特になし。

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙	添付
1	<p><u>サンクト・ペテルブルク市</u> タイトル「2014年半ばにテクノパーク「イングリヤ」の管理棟の設計が終了予定」 ペテルブルクのネフスキー地区に、テクノパーク「イングリヤ」(総面積45ヘクタール)が、PPP方式により建設される(プロジェクト総額300億ルーブル)。今年9月19日に入札結果が発表される予定。同パークでは、現在、80の企業がテナントとなる予定であり、マイクロソフト、カスペルスキー、コジツキー(ロシアの無線機部品老舗)が将来的な進出を表明している。</p>	2013/8/19 「イタル・タス」通信	なし
2	<p><u>サンクト・ペテルブルク市</u> タイトル『「ゴード」社が市内の中心部に位置する歴史的建築物の検査及び測量に関する入札で落札した」 市内の中心部に位置する「Konnyushennaya」地区及び「北部Kolomna・新オランダ」地区の歴史的建築物の検査及び測量に関する入札(7月30日付け「最近の動向」参照)は、「ゴード」社が落札した(契約価格3億4470万ルーブル)。同プロジェクトは、ペテルブルク市中心地の保護プログラム(事業総額869億ルーブル)の第一段階であり、2014年の秋までに完了する予定。入札にはロシア企業5社が参加した。</p>	2013/8/28 「イタル・タス」通信	なし

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向(報道情報以外)

ポルタフチェンコ・サンクトペテルブルク市知事は、ミハイル・デミデンコ氏を建設委員会委員長として任命した。同氏は、以前、オガネシャン副知事(建設担当)の顧問を務めていた。

オガネシャン副知事は、アルテーエフ前委員長の辞任の理由について、委員会の仕事ぶりに対し、市行政府の側からも建設企業の側からもクレームがあったためと説明。

昨年、市の予算による住宅及び公共施設の建設が記録的に遅滞し、アルテーエフ委員長(当時)は、事態の解明、請負業者の交代を公約していた。